

- ◎礼拝説教：2020年7月12日
- ◎説教者：中村準一 牧師
- ◎タイトル：信仰による祈りの力
- ◎今日の聖書：ヤコブ5章13-18節

13あなたがたの中で苦しんでいる人は、祈りなさい。喜んでいる人は、賛美の歌をうたいなさい。14あなたがたの中で病気の方は、教会の長老を招いて、主の名によってオリーブ油を塗り、祈ってもらいなさい。15信仰に基づく祈りは、病人を救い、主がその人を起き上がらせてくださいます。その人が罪を犯したのであれば、主が赦してください。16だから、主にいやしていただくために、罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力があり、効果をもたらします。17エリヤは、わたしたちと同じような人間でしたが、雨が降らないようにと熱心に祈ったところ、三年半にわたって地上に雨が降りませんでした。18しかし、再び祈ったところ、天から雨が降り、地は実をみのらせました。

◎宣教

信仰による祈りとは、どういう祈りをいうのだろうか。ただ祈ればいいというものならば、祈りではなく、ただのつぶやきである。信仰による祈りとは、苦しい時も、喜びの時も、病の時も、たえず祈りを神の基準に自分を合わせて神の御前に置き、その祈りに神は応えて下さると信じて祈ること。それがキリスト者の信仰による祈りの姿であろう。時に、祈りによって苦しみ苦境などが取り除かれないこともある。たとえそうであっても、神様は最善を成し、それに打ち勝つ力を与えて下さると信じて祈るのです。主はまた病む人を癒やし、回復させ、その人を立たせてくださる。もしその人が罪を犯していたとしても、悔い改めるなら、祈りの結果として、その罪は赦される。15-16では、互いに罪を言い表し、互いのために祈り合うことの大切さを教えている。そして義人の祈りは、働くとき大きな力があるのです。その模範がエリヤでした。彼は私たちと同じような人であった。つまり人間的弱さを持っていたが、その弱さを神の御前に置き、全く神に従ったのです。このように信仰による祈りは、人間的なものをはるかに超える力ある働きを生み出すのです。もちろん、それは神のなさる業です。十字架にかかれたイエス・キリスト様によって、罪の赦しを戴き、信仰を与えられた私たちが、教会の兄弟姉妹のために、互いに祈り合うことの大切さを再認識し、エリヤのように、義人が祈る大いなる力を信じて、共に神様に向って祈る教会として、歩んでまいりましょう。